



THE DAILY ENGINEERING & CONSTRUCTION NEWS

発行所 日刊建設工業新聞社  
〒105-0021 東京都港区東新橋2-2-10  
電話03(3433)7151 htp://www.denn.co.jp/  
©日刊建設工業新聞社 2018  
編集 電話03-3433-7151 mail-ed@denn.co.jp  
印刷 電話03-3433-7152 mail-sa@denn.co.jp  
広告 電話03-3433-7154 eisyo@denn.co.jp

# 日刊建設工業新聞

3月20日 火曜日

第19389号

2018年(平成30年)

地元の世話役である庄屋

らが地先の堤防強化をいく  
ら陳情しようが、江戸幕府  
は治水など一切しない。な  
ぜなら隣接する藩や集落か  
ら大反対が起こるからで、  
関係するところ皆がやって  
くれと言われない限り許可  
せず、それも幕府の資金を  
必要としない自普請でなけ  
れば認めなかった。

河川に手をつけることは  
全て江戸幕府の許可が必要  
で、無断で堤防のかさ上げ  
でもしようものなら、即刻  
打ち首になった。地元代表  
が何度も江戸まで陳情に行  
き、禁じられている「籠  
(かご)訴」(籠に乗った  
幕府高官への直訴)を行っ  
た場合にも打ち首となっ  
た。治水への悲願達成のた  
めに許可を待ちきれず、自  
普請で堤防を改修すること  
もあったが、これも礎(は

## 明治維新150年と 治水の歴史

竹林 征三

りつけ)の刑罰に処された。  
犠牲となった庄屋などは  
「治水の義民」と称され、  
地元の人たちから神様と崇  
められた。だが、  
表立って慰霊すれば幕府に  
逆らった逆賊と見なされ絶  
対に許されず、代官ら役人  
の目が厳しく見張ってい  
た。

明治維新となり、江戸時  
代に抑圧されていた治水へ  
の思いが解放される。全国  
各地に治水義民の碑が建立  
されているが、そのほとん  
どが江戸幕府がなくなつた  
明治以降のものだ。石碑を  
建立して治水義民への感謝  
の気持ちを正々堂々と表現  
できるようになった。何百  
年にもわたって表に出せず  
陰に隠れ、子孫に継がれて  
きた義民への感謝の気持  
ち。感謝の思いを祭りに込  
め、後世に伝えていこうと  
もした。

### ③ 抑圧から解放され感謝の踊り

大阪府守口市で行われて  
いる治水義民・喜左衛門に  
感謝する「寺方提灯踊り・  
祭り」は、今や市最大の祭  
事となっている。幕府に逆  
らう逆賊とされ、家財没収  
の上に妻子ともども磔の刑  
にされてしまった門真の義

願中の悲願だった。何度御  
上に訴えてもやってももらえ  
ない。仕方がないので全て  
自普請でやるからという事  
で、ようやく許可が出た。  
ところがもう一度、わず  
かなりとも御上からの支援  
をお願いできないかと言っ  
たのが運の尽き。何をかざ  
けたことを言つたか、馬鹿な  
ことを言つたので許可を取り  
消す、となった。3人の庄  
屋は皆から当時の費用で二  
千両の資金を供出してもら  
っていたので今更やれない  
とも言えず、決死の覚悟で  
無許可のまま工事を実施。

大阪府羽曳野市にある東  
多治井墓地の入り口には、  
高さ1・8mの立派な光背  
のある地藏石像がある。光  
背には「お手と足とは江戸  
にござる、首は多治井の野  
沼塚」と刻されている。野  
沼なにかは村人を救った  
め、ご法度の直訴をして首  
をはねられた。地元の人々  
は江戸に行つて首をもらい  
多治井村に首塚を作る。そ  
れが地藏石像になった。明  
治維新は義民による治水か  
ら決別する契機にもなった  
のである。

参考文獻・「物語日本  
の治水史」鹿島出版会  
(富士常葉大学名誉教授、  
風土工学デザイン研究所理  
事長)  
週1回掲載